

The Formation of ない forms

1) Group 2 and 3

As usual for the verbs of 2nd group, only substitution is necessary in 「ない」 forms: 「ない」 appears instead of 「ます」.

たべます	たべない	みます	みない	かります	かりない
------	------	-----	-----	------	------

The same principle is applicable to 「します」 of 3rd group: します/しない, while 「きます」 has the exceptional 「ない」 form, 「こない」.

2) Group 1

The preceding vowel of 「ない」 goes to [a] instead of [i].

かきます	かかない	しにます	しなない
いそぎます	いそがない	あそびます	あそばない
かします	かさない	よみます	よまない
まちます	またない	つくります	つくらない

In cases of 「います」, 「わない」 instead of 「あない」 is used. As explained before, this type of verbs has [w]. However, due to the phonetic restriction of the modern Japanese, [w] only appears before [a].

あいます	あわない	かいます	かわない
もらいます	もらわない	はらいます	はらわない

There is only one exception in 「ない」 forms. That is 「あります」 and 「ない」 is the 「ない」 form of this verb. Though it is very strange, the verb disappears. 「ない」 is an い adjective of inexistence. You will find this 「ない」 in D34.